

サステナビリティ活動の推進

NTT西日本グループでは、NTTグループの一員として、「NTTグループサステナビリティ憲章※」に基づき、グループ一体での社会的課題の解決に取り組んでいます。NTT西日本グループの取組みを、NTTグループサステナビリティ憲章の3つのテーマに分類し、重点活動項目を設定することにより、サステナビリティ活動を推進しています。

私たちNTT西日本グループの業務は、サステナビリティ活動の3つのテーマと重点活動を通じて、SDGsの達成につながり、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。



※「NTTグループサステナビリティ憲章」の詳細はこちらをご覧ください <https://group.ntt.jp/newsrelease/2021/11/10/pdf/211110da.pdf>

お客様情報の保護強化に向けた取り組み内容

概要

NTT西日本は、お客様情報保護に対する社会的要請を十分に認識し、お客様情報の適正な取り扱いを推進していくことが、公共性を有する電気通信事業者としての重大な社会的責務と考えています。

当社では、安心・安全なサービスを提供しお客様に信頼される企業であり続けるため、お客様情報の保護に向けた取り組みを実施しています。

取り組み内容

社員意識の向上

- ・7月～8月に「セキュリティ強化期間」を設定し、全社員研修及び点検等を実施
- ・お客様情報の管理方法を網羅した簡易マニュアル等を活用した全社員研修を実施
- ・全社員にWEB研修(理解度チェック)を実施

業務委託会社の管理強化

- ・委託会社へのセキュリティガイドラインの制定
- ・お客様情報を取り扱う委託会社の情報管理責任者への研修会を実施
- ・業務委託会社事務所への立ち入り点検を実施

人材派遣会社の管理強化

- ・契約前にお客様情報管理状況、社員の研修状況等について、書類・ヒアリングによる審査のうえ契約可否を決定
- ・人材派遣会社の責任者に対する、お客様情報保護に関わる研修を実施

システムセキュリティの強化

- ・お客様情報を取り扱うシステムへのアクセス時に多要素認証を導入
- ・社外への添付ファイル付メールの送信規制を実施
- ・社内業務用パソコンから外部記録媒体への入出力規制を実施
- ・顧客情報管理システム端末において他事業者サービス情報の抽出規制及び閲覧規制を実施
- ・FAX送信時に第三者承認を必要とする「FAX誤送信防止システム」を導入
- ・標的型攻撃を想定した模擬メール受信対応訓練を実施
- ・万一、社外にファイルが流出した場合の情報漏えいを防止するため、社内OA網に格納するファイルの自動暗号化システムを導入

お客様情報を管理するシステムへのアクセス権限の制限とアクセス状況の定期的チェック

- ・アクセスできる社員を必要最低限に限定しアクセス権限を細分化
- ・不正アクセスの検出及び抑止のための監査ログチェック等を実施

環境経営の推進

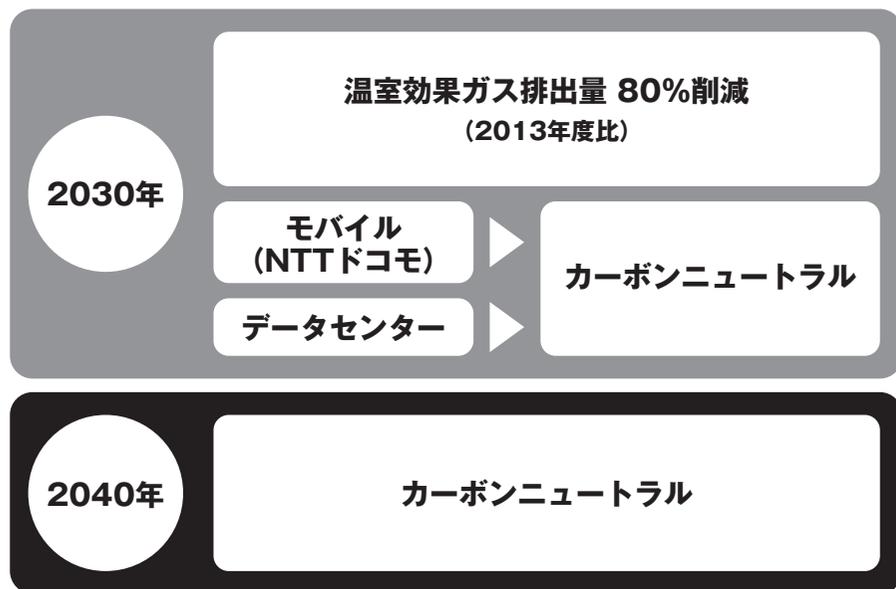
NTT西日本グループは、社会全体の環境負荷低減に貢献する企業をめざし、ICTを利活用した環境負荷低減や環境問題の解決に取り組み、地球規模での環境問題の解決に努めます。

NTTグループの新たな環境エネルギービジョン

「NTT Green Innovation toward 2040」

環境負荷ゼロに向けて、NTTグループは2021年9月28日に新たな環境エネルギービジョン「NTT Green Innovation toward 2040」を発表しました。
NTTグループは、事業活動による環境負荷の削減と限界打破のイノベーション創出を通じて、環境負荷ゼロと経済成長の同時実現をめざしていきます。

「NTT Green Innovation toward 2040」



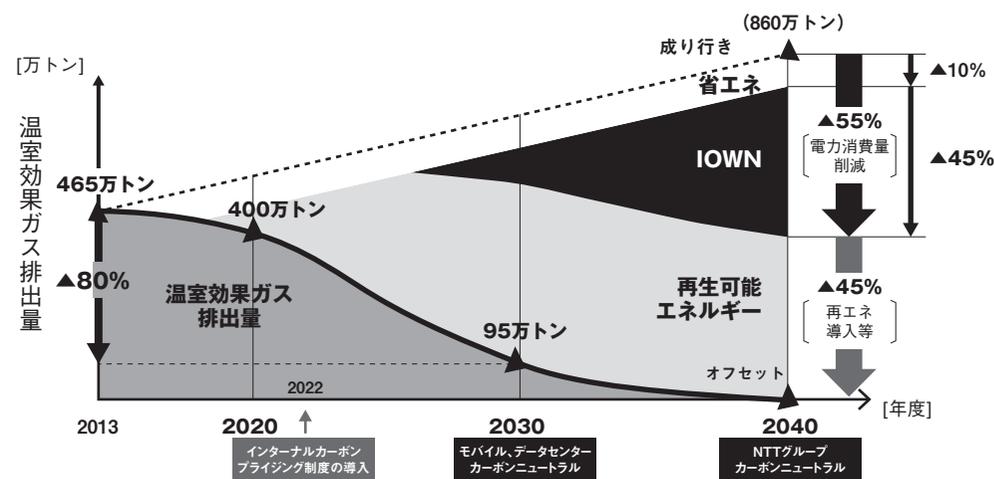
※上記削減目標の対象

GHGプロトコル：Scope1(自らの温室効果ガスの直接排出)、及びScope2(他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出)

モバイル：NTTドコモグループ 15社 (2021年9月28日現在)

※NTTグループのSBT目標(Scope1,2)：1.5℃水準へ引上げ

NTTグループ温室効果ガス排出量の削減イメージ



NTT西日本グループ環境目標2022年度達成状況と2023年度計画

NTT西日本グループは、年間約12億kWhという電力を使用し、それに伴って大量のCO₂を排出しています。電力エネルギーを大量に使用する企業の責務として、消費電力の削減に加えて、地球環境保護にも積極的に取り組んでいます。

●NTT西日本みどりいっぱいプロジェクト

これまで、各地で行ってきた活動を発展させるために、2012年11月より活動名称を統一し、「NTT西日本みどりいっぱいプロジェクト」を開始しました。本プロジェクトは、植樹を核として、地域の自然的・社会的条件に応じた生物多様性の保全のため、自治体・NPO等と連携しながら展開する生物多様性保全活動です。西日本エリア30府県において地域密着の活動を実施することを目標としており、2022年度は達成することができました。2023年度においても西日本エリア30府県での活動を実施します。

NTT西日本グループ2022年度活動実績、 2023年度活動計画

2022年度の達成状況、2023年度の計画は以下の通りです。

テーマ	2022年度目標		2023年度
	目標	実績	目標
社会が脱炭素している未来へ (温室効果ガス排出量削減) ・温室効果ガス排出量*1 ・一般車両のEV化「EV+廃車」	44.4万t-CO _{2e}	30.3万t-CO _{2e}	29.5万t-CO _{2e}
資源が循環している未来へ (循環型事業活動の推進) ・廃棄物のリサイクル率	700台	710台	720台
自然と共生している未来へ (生物多様性保全のため、 あらゆる活動を通じた 取り組みを積極的に推進)	30府県で 活動	30府県で 活動実施	30府県で 活動
紙使用の原則廃止 ・事務用紙使用量 (一人当たり使用枚数/月)	0.54千t (181枚/月)	0.53千t (173枚/月)	0.39千t (134枚/月)

*1:2022年度以降、他社ビル自責による温室効果ガスを管理に追加(管理領域を拡大)し、
当管理領域に基づき目標値を設定。

◆代表的な活動事例(みどりいっぱい活動)

本 社
上賀茂神社での葵の植栽会

奈良支店
絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」保護・里山修復活動

和歌山支店
輝きの森植樹及び下草刈り

滋賀支店
大津市民琵琶湖ヨシ刈り

岡山支店
「カブトガニ」の繁殖地である笠岡湾の清掃活動

鳥取支店
とっとり共生の森森林保全活動

山口支店
山口大神宮竹林整備

金沢支店
海岸愛護運動「クリーン・ビーチいしかわinかなざわ」

富山支店
八重津浜海岸清掃活動

静岡支店
安倍川流木クリーンまつり

三重支店
「ひかりの森」森林保護活動

名古屋支店
藤前干潟クリーン大作戦

岐阜支店
長良川の生態系保全のための清掃活動

熊本支店
神山山小山山緑地の里山化

福岡支店
糸島市福井海岸での松林保全活動

高知支店
「NTT光の森」交流活動

愛媛支店
道後公園での落ち葉の散布作業、清掃活動

香川支店
環境クリーン作戦 in 峰山

徳島支店
吉野川の一斉清掃活動(アドプトプログラム吉野川)

社会貢献活動

NTT西日本グループは“企業は社会の一員である”と考えています。そして、このスローガンのもと、単なる金銭援助ではなく、積極的・継続的に社会貢献活動に参加し、「良き企業市民」として社会と共生することで地域と一体となつてともに感動し、成長しながらより良い未来を創造していきます。

NTT西日本の社会貢献活動の取組み

社会福祉

◆「電話お願い手帳Web版／アプリ版」の提供

耳や言葉の不自由な方向けに、外出先で携帯端末(スマートフォン、タブレット、フィーチャーフォン等)を用いて、近くの方に用件をお願いするコミュニケーションツールとしてご利用いただくものです。

◆各種福祉サービスの提供

NTTふれあいファクス、NTTファクス104、NTTファクス115、点字電話帳 等

◆福祉機器の提供

◆新聞代読サービスの支援

◆使用済み切手の収集・寄贈 等

安心・安全な社会の実現

◆e-ネットキャラバンへの講師派遣

インターネットの安心・安全な利用のために、総務省が文部科学省および通信事業者等と連携し、児童・生徒および教職員・保護者等を対象に実施している啓発活動「e-ネットキャラバン」に、講師派遣を行っています。

地域社会

◆地域振興イベントへの参画

各地のイベントへ社員が積極的に参加し、地域との交流を図っています。

スポーツ文化

◆シンボルチームによる「ふれあい教室」の開催

シンボルチーム(硬式野球部、陸上競技部、ソフトテニス部)では、スポーツ活動を通じて、健やかな地域社会づくりや地域の交流を促進する活動を行っています。

◆スポーツボランティアへの参画

各地域で開催されるスポーツ大会(マラソン大会等)におけるボランティアなど、NTTグループの社員が参加しており、NTTグループ横断でスポーツボランティアを奨励しています。

国際交流

◆海外研修生の受け入れ

アジア、太平洋地域等の電気通信分野の発展に協力するため、研修生を受け入れ、電気通信分野の研修を行っています。

◆技術協力専門家等の派遣

社員の社会貢献活動への支援

◆ボランティアギフトプログラム

社員のボランティア活動を支援するという企業姿勢を明確にし、その活動の推進を図るとともに、社員のボランティア活動を継続的・効果的なものとするため、社会福祉の分野で、長期にわたってボランティア活動に取り組んでいる社員を対象に、その活動先の施設等に、物品を寄贈するプログラムです。

◆マッチングギフトプログラム

社会貢献活動を目的とした社内の募金活動者又は団体が、社員から募った募金をその目的のために寄附を行うにあたり、会社もその寄附先に限度額の範囲内において寄附を行うプログラムです。

ダイバーシティ・働き方改革の推進

取組み基本方針

「ちがいを」価値として、一人ひとりが「自分らしく」チャレンジする会社づくり

社員のチャレンジを引き出す働きがいのある職場づくりをめざした働き方改革と、社員が多様性を活かして事業貢献できる組織づくりを実現する。

多様な人材の活躍

ダイバーシティ
&
インクルージョン

●全社員を対象とした、多様な能力を引出し、活かす風土づくり

働きがいのある職場づくり

働き方
改革

- ワークインライフの実現
- 自律的にチャレンジする職場環境づくり

女性活躍推進

自分らしいキャリアの実現に向けた意識醸成、職場環境、風土づくりに取り組んでいます。

【女性活躍推進法に基づく行動計画】

期間	2023年4月1日～2026年3月31日までの3年間
目標設定	①2025年度末までに女性の管理者比率15%達成(実績9.1%) ②2025年度末までに男性社員の育児事由休暇取得率100%以上(実績168.7%)
取組内容	・女性社員のキャリア意識改革・スキル習得のための研修実施 ・上司から部下へのサポート力強化研修の実施 ・多様な働き方の実現に向けたリモートワークの推進 ・男性社員の育児関連休暇等の取得促進

※実績は2022年3月末時点

障がい者雇用推進

NTT西日本グループでは、「障がい者が職業を通じ、誇りをもって自立した生活を送ることができるようにする」ために、積極的な雇用機会の創出、雇用拡大を図っています。また特例子会社のNTT西日本ルセントを設立し、NTT西日本グループとしては「障害者雇用促進法」で定められた民間企業の法定障がい者雇用率を上回る雇用を果たしています。

	2023年6月
雇用率	2.83%
法令雇用率	2.3%

LGBTQ等性的マイノリティ活躍促進

性的指向や性自認に関わらず、誰もが自分らしく生き、働ける組織、会社の実現を目指して、多様性の受容と各人の能力の最大化を可能とする環境づくりに取り組んでいます。

制度	配偶者及びその家族に関わる制度全般(手当、福利厚生等)について、同性パートナー等にも適用。 【具体的な内容】 ・配偶者及び配偶者と同等の関係にある者(異性・同性問わず)を「パートナー」と定義 ・現行、配偶者及びその家族に適用している制度について、パートナー及びその家族に適用 ・社員と生計を同じく社会通念上実子と同様と考えられるパートナーの子について、社員の子と同様に扱う旨を明確化
理解醸成	・ダイバーシティ推進全社員Web研修 ・出前型研修、当事者によるセミナー 等 社内HPでのコンテンツ展開 ALLY (LGBTQ等性的マイノリティに対する理解者、支援者) 意思表示グッズの配布 
相談窓口の整備	・こころの相談窓口(社外窓口) ・ハラスメント相談窓口、健康管理センター(社内窓口)

具体的な取組み内容

業務効率化だけではなく、自律的に時間と場所をコントロールする働き方の推進や、新たなチャレンジによって価値を生み出せる職場環境づくりに取り組んでいます。

- リモートワークの推進・定着(在宅勤務、サテライトオフィス、フレックスタイム制、WEB会議)
- 社員の能力や希望を活かせる機会提供
→社内ダブルワーク(社内副業)等の推進

リモートワーク実施率*1

2022年度*2
57%

*1 オフィスワーカーのみ *2 2022年7月～3月実績

有給休暇取得率*2

2020年度	2021年度	2022年度
86.1%	90.7%	98.0%

*2 年間発効数20日に対する平均取得日数

所定外労働時間*3

2020年度	2021年度	2022年度
11.9時間	14.9時間	10.6時間

*3 NTT西日本グループ一人あたりの実績

認定関連

えるぼし認定
3つ星

女性活躍推進に関する取組について、優良企業が、厚生労働大臣より受ける事が出来る認定



PRIDE指標
最高位

LGBTQ等性的マイノリティへの取組の評価指標として、任意団体work with prideより、受ける事が出来る認定



くるみん認定
5つ星

子育てサポート企業として、厚生労働大臣より、達成要件を満たした事業主が受ける事が出来る認定

